



GLOBAL DAIRY PLATFORM

EATランセット報告に関するIDF-GDPプレスリリース

2019年1月16日、ブリュッセル/シカゴ発

持続可能な食事への酪農の貢献が認知された Dairy's Contribution to Sustainable Diets Recognised

酪農セクターは、持続可能なフードシステムに関する議論を歓迎する。

最近、ある科学者グループと興味を持った市民が一体となり、持続可能なフードシステムのためのロードマップへのコンセンサス（合意）を求める国際研究班である、食料、惑星、健康に関するEATランセット委員会を作った。我々は、より持続可能性のある食料を、どのように生産して供給するかに関する世界的な対話への彼らの貢献を称賛する。

変化する世界的な人口統計や環境面の挑戦の観点から、酪農セクターはより多くの食料をより効率良く供給する必要性を理解する。

酪農セクターは、持続可能性が環境、社会経済的側面および栄養などの多くの要素を包含することを長らく認知してきた。国連の「持続可能な開発目標」を達成するためには、広範囲の解決策が必要となる。それは、ある一定量のカロリーで世界に食物を与えることではなく、最適な成長やパフォーマンスを促進する乳や乳製品のような栄養豊富な食料で人々に栄養を与えることである。

酪農は、多くの国々において持続可能な食事の基本的な構造ブロックの一つである。酪農食品は、高品質のタンパク質などの多くの必須の栄養素を提供し、入手しやすく、便利であり、手頃である。さらに、乳牛は、しばしば食用に適さないか、栄養に乏しい食料品や他の食料生産由来の副産物を、人々の成長を助ける高栄養の食料に変換する。

世界中の60億人の消費者への普通の栄養源となることに加えて、全世界の1億5,000

万戸の酪農家とともに、国連は 10 億の人々が生計の支援と地域社会の維持を酪農セクターに依存していると推計する。

酪農セクターは、新たな慣習の取り入れの確立された記録を持ち、そして世界に食物を与えるための革新的な解決策の導入における活動的な参加者である。この惑星の世話役として、酪農家は、環境的影響の削減、動物への責任を持った保護、および次世代のためのより良い土地作りを行いつつ、より良い食料を効率良く生産する方法を常に求めている。

我々は、世界的なフードシステムの完全性に関するオープンな対話に携わることを約束する。

IDF President, Dr. Judith Bryans

IDF 会長 ジュディス・ブライアンス博士

communications@fil-idf.org

GDP Executive Director, Donald Moore

GDP 常務理事 ドナルド・ムーア

info@globaldairyplatform.com

完

翻訳：J I D F 事務局

編者注：仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。

参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。